

すべての原発いますぐなくそう！ 全国会議

NAZEN 通信



第50号

2017.6.11発行

カンパ 5・0円

発行：NAZEN 事務局

東京都杉並区天沼 2-3-7 さかいビル 3B

info@nazen.info

都議会議員選挙は原発めぐる正念場 北島くにひこ候補とともに闘おう

東京都議会議員選挙（6月23日公示・7月2日投票）は原発をめぐる正念場です。安倍政権による「移住か帰還か」を迫る3・31～4・1にかけての避難区域解除と住宅提供の打ち切り政策をも超えて、いまやもっとも多い福島からの避難者をかかえる東京で、多くの「残留避難者」が生まれています。今村復興大臣を辞任に追い込んだ福島の怒りが東京でこそ溢れています。

避難者たちは「都議選が終われば追い出しと訴訟が始まるだろう」と訴えている。5月に再稼働が強行された高浜原発3・4号機に続き、玄海原発の再稼働が夏に狙われている。小池都知事は避難者を一掃して原発再稼働への道を作ろうとしている。都議選が大きな焦点です。

6月5日に開催された福島県民健康調査検討委員会では、あらたに小児甲状腺がんは疑い含め6人発表され、191人となった。改めて問いたい。小池都知事の住宅打ち切り・帰還強制策にYESかNOか。「都民ファーストの会」に全党派がすり寄る欺瞞の都議選でいいのか。

原子力研究開発機構が引き起こした国内史上最大の内部被曝事故。プルトニウムやウランの



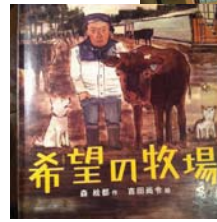
都庁議事堂レストランでの福島署名解雇に抗議の座り込み。解雇された柿沼さん（左）と都議選出馬の北島邦彦西部ユニオン副委員長（6月7日）

内部被曝は最大で36万ベクレル、年間線量は1.2シーベルトであるという。福島第一原発の廃炉作業にもかかわる機構は事故直後「被曝量は少ない」「健康上影響ない」と発表し、3・11以前と何も変わらない体質を明らかにした。原発再稼働など問題外だ。正規と非正規が混在する職場で安全教育もずさんに被曝労働が行われていた。

小池都知事は働き方改革を先頭で進めるといふ。民営化と非正規職化は、労働者の命をないがしろにする社会を進行させ、労組解体を通して戦争政策とも結びつく。都議選の中でこそ福島署名運動を拡げ、小池都知事を倒そう。

◆福島の声 孫が甲状腺がん疑いのNさん 聞き手・椎名千恵子さん	… 2ページ
◆避難者の集会に参加して 事務局 伊谷	… 3ページ
◆共謀罪は絶対廃案 横浜事件弁護団 森川文人さんインタビュー	… 4～5ページ
◆都庁ふくしま署名解雇を許さない会が結成集会	… 6～8ページ

孫の甲状腺がんは 原発事故のせいだと 認めてください。



聞き手 NAZENフクシマ 椎名千恵子

「福島」は、いのちが、子どもの未来がかかっている、根源的な怒りです。

福島抹殺の安倍戦争政権に追随している内堀県政は、4月1日の帰還困難区域を除く避難指示解除をもってますます復興政策に拍車をかけています。県民の怒りがこのまま鎮火するわけがありません。

N・Tさん(福島市H町)は、甲状腺がんの孫に寄添って、こうした体制の本質を鋭く見抜き不安と怒りを持ち続けてきた人です。「被曝と帰還の強制反対署名」第3次申し入れと署名提出の際、「小児甲状腺がんは、原発事故のせいだと認めて下さい」。5月18日の第4次行動の際は、「18歳以上のがん患者の医療費還付が、県立医大以外の医療機関でも可能にすべきです。事故直後の行政主催の講演会で、県立医大の医師から、『今日は九州、明日は何処そこのものと、福島のは毎日食べないでくれ』と聞いてから福島の水はいっさい使っていない。がんの孫の体を守るのに、食費がかさみます」。必死の訴えで県職員の胸を突きました。

Q 孫のM君は事故当時中学2年生でしたね。

Nさん 父親の元に、友人である県立医大の医師から、放射能の雨が降るから逃げろと電話があり、米沢に一時避難しました。学校でのエコー検査でB判定が出て医大に回され、鈴木眞一医師から「がん疑い」と診断され、いずれ手術しなければならないと言われていました。

Q M君はどうしても切りたくないと言っている？

N がんであることを、級友の一人に打ち明けた時、もうお前のそばには寄らない(うつるから)と言われてたり、事故後は、心傷めることを散々経験しているんです。

Q そのダメージが複雑にからまって決断を鈍らせていると思いますが。

N 私たちが死んだ後も強く生き抜いて欲しいと思っていろいろな場所に連れて行くようにしています。

事情があつて、一歳の時から、お母さんがわりとなつてM君の成長を見届けてきたNさん。検討委員会、署名提出・申し入れ行動でM君の姿があつたわけを知りました。

小学校で子ども達へ読み聞かせをすると聞いて、その日、Nさんを密着取材しました。H団地の東端にあるその小学校は、M君の母校で彼の在校時から読みかせグループの一員として十数年続けている活動。場所は昼休みの図書室。Nさんがこの頃取り上げているのは、絵本『希望の牧場』です。浪江町で3.11事故の生き証人として、牛と共に生き残り続ける牧場主・吉沢正巳さんの絶唱のような絵本です。

「あしたもエサをやるからな。もりもり食って、クソたれろ。えんりよはいらねえ。おまえら牛なんだから。オレは牛飼いだから、エサをやる。きめたんだ。おまえらとここにいる。意味があつても、なくてもな」

最後のページはたった5行の文、絵は牛一頭と吉沢さんの後ろ姿。初々しいピカピカの一年生のあどけない顔が、読むにつれ深妙な表情を帯びていきます。Nさんの「福島」は、2011年3月11日にはまだ乳飲み子だった子ども達にしっかり繋ぎ渡されたと、実感しました。

その足で、車で5分の距離にある福島県立医大に。「県民健康管理センター甲状腺検査部門」。思えば、この科も3.11以前には存在しなかった。写真撮影に夢中になる私の背中にNさんの言葉も重くのしかかりました——「この頃、ここに来る大人の患者が増えている」。

大洗・原子力機構事故の作業員の内部被曝の数値は36万ベクレル。今後も深刻な実態が明白になるにちがひありません。原発再稼働が許されて良いはずがない。「被曝と帰還の強制反対署名」を職場で、地域でもっともっと大きくし闘って行きましょう。

「残留避難者」を住宅から追い出すな ——避難者の講演会に参加して

5月末に東京の「残留避難者」の講演会がありました。いわき市から避難されている「ひなん生活をもまる会」の方です。講演の半分以上が、いわきの放射能汚染の深刻さと被曝の危険についてでした。3月末での住宅提供打ち切りと帰還強制は、健康と命にかかわる問題であるとあらためて感じました。(事務局 伊谷)



今村復興相辞任を求める4・6官邸前
・復興庁前行動にNAZENも決起

□汚染の現状と避難の必要性

福島県は「除染で空間線量は下がった。避難指示は解除し、家に戻れる」と言います。しかし、「環境省も『除染の効果は5%ぐらい』と言っている」とのこと。「線量が少し下がったのは除染の効果ではなく、物理的法則に従っただけ、これから先はほとんど下がらない」

「いわき市の自宅の庭は、一番高い所で23万ベクレル/m³もあり、放射線管理区域である4万ベクレル/m³をはるかに超えている」。また、いわきに帰らざるをえなくなった人に頼まれてその家で測定してみると、庭の土を入れ替えて掃除も徹底的にやったにもかかわらず、子どもの靴下にセシウムがくっついている。小学生の高学年の子より幼稚園の子の方が数値が高い。「泥遊びするな」とか言っても、遊び回る小さい子ほど被曝する。「自分も帰れないし、子どもだって帰すわけにはいかない」

「食品検査についても精度の悪い簡易測定に変えられた」とのこと。「事故以前は0・06ベクレル/kgとかの測り方をしていたのに、米なんかは25ベクレル/kg以下は全部一緒くたにされてしまった」「福島県に聞いても『従来のやり方はしていないので分かりません』としか答えない」「食品の安全性はわざと確認していないみたいなのひどい状況」。こういう具体的な汚染の現実を指摘した上で、「これで住宅打ち切りはないでしょう」と。

□国には住宅の無償提供の責任がある

「『住宅支援』という言い方はおかしい。加害

あつての被害。家が汚染されてしまったから、その代わりに家が提供されるべき」「避難住宅提供の打ち切りは、国の責任放棄を意味しており、被害者として容認できない」。特に「国の責任放棄を許さない、これは、むしろ4月から重要」と強調されました。まったくその通り、国・福島県・東電に対する責任追及の立場を強めなければなりません。

「私たち被害者が一致団結して国と東電に求めているのは、『補償・賠償』であり、『支援』ではない。避難住宅は4月以降も、国もしくは東電の責任において当然無償で提供されるべきで、私たち被害者は『避難住宅打ち切り撤回』『長期無償の避難住宅』『新規避難の再開』『福島県外への対象地域拡大』など被害者救済策を求めた交渉を行います」と、「新規避難の再開」とまで提起されているのは重要です。

□東京都の立ち退き訴訟を阻止しよう

国も福島県も「移住か帰還か」と迫ってきて、「そのまま避難を継続することを選択肢としてありえなくさせました」。しかし東京では、1月に36世帯が「住宅使用許可の集団申請」を行っています。単独の申請は受け取りません。集団での残留は東京都だけとのこと。

この残留避難者に対し、都議選後に立ち退きの動きが強まる可能性があります。「具体的に追い出すのは東京都になりそうなんですけど、東京都は立ち退きを迫るような訴訟を起こさないでほしい。なんとしても阻止したい」。この訴えに応え、ともに決起していきましょう。

「共謀罪」って何？

森川 文人さん（横浜事件弁護人）に聞く



政府が狙う共謀罪とは、「共謀と準備」にかこつけば実行行為のない段階で犯罪が成立する。これは近代刑法の原則から画歴史的に外れたものです。自由と権利という発想から言うと、人を処罰することは自由の制限であり、本当に犯罪をやっちゃった場合や、やるのが明らかで未遂に着手した場合に限って犯罪として処罰するのが原則です。それをずっと手前にして、共謀した段階、犯罪をしようぜって合意に達した段階で、犯罪とみなして逮捕してしまう。

「共謀」とは意志の連絡であって、過去3回廃案になった国会答弁では、「目くばせ」でも成立するというのがあった。SNSで「いいね」を押したら共謀とか、無限に広がる可能性がある。これは内心や思想にたいする弾圧になる恐れがある。戦前の治安維持法のようにね。



横浜事件は、治安維持法のでっちあげで拷問し、虚偽の自白調書で有罪にして、そのそばから証拠も判決文も焼いて隠滅しちゃった。戦後に再審申し立てをしたら、判決を添付しないと申し立てできませんと切られた。権力側は絶対証拠なんて出してこないんだ。やられるのはこっち側。

共謀って、意思の疎通、団結と連帯だよ。人と人がつながること自体をその段階でつぶそうという意思が見えみえ。去年成立した盗聴法の改悪・拡大によって、より権力側が「共謀」を把握しやすい状況にある。

■「一般人への拡大」こそが目的

政府は刑事罰を277条に絞ったと言うけど、特別公務員暴行陵虐罪とか、国家側の犯罪

を除くような形だし、277条もあれば、どこかに引っかければいいわけ。埼玉の白タク弾圧だって、福島現地の見学が「道路運送法違反」とされた。新聞で「県警は反原発運動と見ている」と。反原発運動だから逮捕してるんだよね。実際はレンタカーを割り勘しているだけ。

今回は「共謀だけでは逮捕しません。準備行為が必要なんです」という体裁をとっているけど、なんでも準備と認定する。カンパ集めた、話し合いの場所を借りた、それで準備行為。これも限定されたことにはならない。

「犯罪組織に限定する」と言っているけど、権力側の「犯罪組織」「テロ組織」はすごく広い。要は政府の思惑に反対するような、例えば「今の戦争政策はおかしい」と国会を囲めば「政策を妨害する威力業務妨害だ」とか。反原発運動にしても狙いはあからさまだろうと。

「現代の治安維持法」だよ。実行行為なしで、時の政府が気に入らない団結を狙い撃ち。記者から「一般人に拡大する危険性があるんですね」と念を押されるけど、「危険性」ではなくて拡大するんです。

■社会変えるチャンス見抜け

何度も廃案になった共謀罪を彼らが欲する背景は、彼ら資本側の危機だ。世界中ゼネストだらけだもん。フランス、韓国、ブラジル。イタリアなんかG7中にゼネストをやってる。日本でも同じことが起こらないようになってこと。

今「国家対われわれ」という対峙関係が歴然としてきている。森友学園であれだけ出てきたのに知らん顔して。弾圧の武器を欲しがっている。たった8人が36億人分の資産をにぎるまで格差が拡大する。「もうやってらんないぞ」って、この状況を突破しなければならない。むこうは押さえきれないと思ってる。だから国家は利害を調整する機関ではなく、弾圧の装置だ。

オリンピックをやるとテロが起こる？ だったらやめれば？って（笑）。ブラジル五輪ではゼネストが起きた。そういう感じにしていかなきゃ。弱気になるべき問題じゃない。共謀罪をテコに政権を打倒するチャンス。むこうもグラグラだもん。

■過激派でいこう

戦前の治安維持法も「一般人には拡大適用はしない」と言っていた。第一条から共産主義や反国体思想に対しての思想弾圧立法だった。

横浜事件は治安維持法後期の事件だから、当時の共産党を全部壊滅させた後の特高警察の自己存続のための事件。ただの出版記念の宴会を「共産党再建会議」とでっちあげること自体問題だけど、「じゃあ共産党再建会議だったらまずいの？」って問題はあるよね。みんなの中にある偏見をテコにこじ開けていく法律なんだろうな。1917年にロシア革命が私有財産制度を否認した革命として起きた。だから治安維持法だった。

よく累進課税しろとか言う人いるけど、じゃあどうやってやるんだと。俺たち卒業するとき学費値上げ反対ストライキをやって試験をすっ飛ばしたの。ヨーロッパなんか学生運動があるから、いまも学費が無償。だから闘い続けることが大事。日本だけ異様に大学の学費が上がっている。韓国も同じような学歴地獄だけど、学生たちが立ち上がったのは希望だよ。「未来のために」だよ。

共産主義、社会主義、ネーミングはともかくその発想が普遍化せざるをえない情勢でしょう。持たざる者の側が共謀するのも当たり前だよ。もうひと頑張りしなくちゃ。可能性があるからこそつぶそうとしてきてる。だからこそ、他人の心配じゃなくて、自分に向かっているものとして、共謀罪フォーミーだよ（笑）。

■共謀罪は戦争のため

朝鮮半島情勢は、俺が生きてきた中でも最大に緊張が高まっている。歴史の教訓だけど、人々の怒りを押さえきれない時代の政府は、侵略戦争で民衆の怒りをナショナリズムに動員しようとする。実際北朝鮮バッシングも著しいし、ナ

ショナリズムという点ではちょっと成功しているところがある。だからこそ、朝鮮戦争反対と声をあげていかななくてはならないし、それをつぶすための共謀罪だよ。

「反対、反対ばかり」という人もいるけど、戦争しない方がいいよね。原発推進しない、労働者を使い捨てにしない世界を求めています、でいいんじゃないかな。

いま政府がやることは全部つぶす。全部裏返しにしたような時代を作っていくんだから反対だと。共謀罪はいらない。対案もいない。ソフトな弾圧もいない。ソフトな搾取も、ソフトな放射能もありません。すごくわかりやすくなってきた。

つながって力を持つことを、最大に恐れているということの表れがこの共謀罪なんだ。それだけ可能性があるってことだよ。

■国会を困め 共謀しよう！

国会の外が大事だよ。国会の中は民進党的な条件闘争になってるけど、延ばさせる、採決させない、それをやらせるのは困むわれわれの力。国会前に押し寄せる人に絶望感はない。共謀罪に関しては、過去3勝しているわけだから。過激派みたいな形で出ていきたい（笑）。人気者にならないといけないよね。ロシア革命のときのボルシェビキのように。

国会前の行動は6月もやっていく。国会前に集まることは唯一の方法ではないけど、やれることのひとつ。発信できるチャンスは全部使っていく。表現して誰かに伝えることが共謀なんだからさ。

自分たちの内にある評価主義からどう抜け出すか。最初は誰だって子どもに対して「健康であればいい」と思う。でもだんだん期待するようになって「役に立たないといけない」みたいなのが自分たちの内部にまでしみ込まされてギスギスしちゃう。

バンドに例えちゃうんだけど、同じ規格にみんながあてはめられるのではなく、ボーカルなりベースなりドラムやギターなり、役割が違う人が集まって一つのことを成していく。そういう共謀、団結だよ。

6月6日、「都庁ふくしま署名解雇を許さない会」結成集会うちぬく！！

●経過報告



佐藤賢一（許さない会事務局長）
金もない、地位もない、愛と
勇気だけが友達のみなさん。仕
事帰りの集会ご苦労様です。

柿沼さんは3・11のあと小学生だった子どもの健康を守るために、国会の前に行き、親子で必死になって日本の原発政策に反対してきました。ふくしま共同診療所の建設が必要だと確信し、親子でカンパを訴えて、100万円以上のカンパを集めてきました。親として原発政策に必死に反対して生きてきて、それでいま解雇され、福島避難者と同じ立場となっています。

レストランでは全員から署名を集め、正規職2人、非正規職40人のブラックな職場に労働組合をつくろうと考えていました。いま職場の署名運動を理由に解雇されたこの人を、安倍政治に怒る全国の労働者の前に登場させることの意義は計り知れません。

解雇された彼女に失うものは何もありません。あるとすれば子どもの命です。彼女が4月1日の浪江闘争で見た現実、戦争そのものでした。この闘いは戦争をやろうとする者との闘いでもあります。

まったく新しい、この日本の在り方を変える闘いが始まった。事務局も作り、旗も作り、ブログも作りました。あとはカンパを集めるだけになっています。よろしくお願いします。

●解雇者から



柿沼庸子（かきぬまようこ）
今日の団交は、動労水戸のTシャツと動労千葉のなっぴ服と「怒り福島」のはっぴを着てやってきました。団交のなかで同じことしか言わない会社をみて本当に人間性が奪われていると思いました。自分の意思とか、自分の考えをなくされてしまっている。



私に渡された書類の日付が違っていただけについて、「パソコンのバグです」と。しかも「調査中」です。

私がこの闘いでやっていきたいことは、みなさんが自分たちの闘いとして、地元で広げてほしいということです。非正規の問題であるし、安倍や小池による被曝の強制であるし、戦争に向かうための弾圧であることが露骨にわかる問題だと思う。みなさんがこの闘いを水路にどんどん仲間を広げて、韓国のようなウエーブができるぐらいに、ゼネスト情勢に是非していただきたいと思っています。

●呼びかけ人から



根津公子（君が代不起立被処分者・元教員）

柿沼さんのように声をあげている人は、個人で声をあげているんだけど、でも個人ではないですよ。大勢の人が後ろにいて、大勢の声を代表している。社会を変えるためには彼女のような人がいなければならない。

私が闘いを始めた時も100年、200年と闘ってきた人たちがいて、あっ闘えるんだと思ったから、たちあがったわけです。柿沼さんの闘いを見て、そう思う人たちがこれからたくさん出てくる。共に頑張りましょう。

●福島から



橋本光一（動労福島委員長）

柿沼さんに来てもらった4・1の浪江闘争というのはものすごく画期的でした。福島が安全・復興キャンペーンでがんじがらめに押さえつけられ

ている中で、記念式典を直撃して文字通り爆砕した。政府中央の幹部たちが参加して、本当は浪江駅の前の広場でやるはずだったイベントができなくなって、駅舎の中にぎゅうぎゅうにとじこめられて、しかも柿沼さんのたたくジャンベの音とアジテーションをさんざん浴びせられながらこそそそやって帰っていった。

僕らとしてはその報復として、柿沼さんが解雇されたんだと。そういう責任を感じている。

で俺らのためにやってくれたんだから支援しようと思って今日来たんですけど、話を聞いて、そういうレベルの人じゃないなど。自分の闘いを地元を持って帰ってゼネスト情勢をつくれと。

私も郡山のJRの職場の線量をあらためて測ってみたんですけど、原発事故の放射能が1010ベクレルあることがわかった。それが粉塵になって口から吸っていることも考えるべきだと言われた。なかなか闘う気分になるのは難しい中で、柿沼さんにそう言われてうれしかった。皆さんとともに頑張っていきます。

●行動提起



丸太雅臣（東京西部ユニオン・アパレルゼネラルユニオン支部書記長）

まず都議会の最終日のあす6月7日、都庁前で座り込みをやります。

そして賛同会員になってひろげてください。個人会員は月一口500円、団体会員は一口1000円になります。柿沼さんの生活と闘いを支えるためには、毎月15万円以上が必要です。そう考えると個人会員で400口を目標にしたい。そして継続性がひつようです。解雇撤回まで何年かかるかわからないけど勝ち取るんだという思いを僕らの力で作っていく。まず自分が会員になって、もう一人職場で呼びかけよう。そして職場で仲間をつくるチャンスとしてこの個人会員を使ってほしい。

もうひとつ解雇撤回署名を、福島「被曝と帰還の強制反対署名」と一体で集めましょう。この二つの闘いは一体です。

この闘いで敵は一つだということがよく分

かった。被曝労働を強制する奴、福島を切り捨てる奴、民営化で金をもうける奴、共謀罪を狙うやつ、戦争をする奴、みんなおんなじ一握りの連中だ。東京では小池だ。同時に敵の不正義性が明らかになった。だから僕らは団結を拡大強化する。提起した方針を貫いているのは団結の強化・拡大です。

そのために大切なことは、これから出会う仲間の決起に限定をつけないこと。呼びかけにも限定をつけないこと。自分自身の決起にも限定をつけないこと。ひとりひとりの熱い思いが重要です。頑張ってください。

●まとめ

北島邦彦（東京西部ユニオン副委員長・都議選候補）



参加者が全員が自分たちの闘う武器ができた実感した。安倍や小池を倒す拠点ができた。

なぜ東京都がレストランを外注化しているのか。もし直営だったら労働組合の支部ができるからだ。そうさせないために外注化している。だから彼女の首を切った。はなまるという会社は都の意向として契約を切られないために首を切った。だから小池との対決もここにあるということをはっきりさせたい。

小池の一番の弱点は労働組合との闘いだ。小池をここに引きずり出してくる。それがこの闘い。この間都庁で朝ビラをまいたり、都労連傘下のいろんな組合の支部をまわったりして分かったことは、みな小池や安倍に怒っているということ。私も都庁で派遣で働いていますと声をかけてくる人がいる。どこで働いているんですかと聞くと、話しているのを見られるのも困るってビラだけ受け取っていく、こういう人たちが、声をかけてくるわけです。組合まわりでも、資料をもっとくれと言われて途中で資料がなくなっちゃった。ゼネスト情勢がもう来てるということだと思う。第2第3の柿沼さんが自分たちの隣にいるということだと思う。まだ黙ってるかもしれないけど世の中に満ちている。全力で闘いましょう。（8面に呼びかけ文）

「都庁ふくしま署名解雇を許さない会」への参加の呼びかけ

2017年4月3日、都庁にあるTOKYO都庁議事堂レストランは、東京西部ユニオンの柿沼組合員を解雇しました。この解雇は柿沼さんが「福島からの避難者住宅追い出しと帰還・被曝の強制に反対する署名」を集めたことに対する、小池都政による極めて政治的な不当解雇です。

私たちは、小池都知事と都庁の業務委託先(株)「はなまる」による解雇を絶対に許しません。

この解雇は、東京都が徹底的に民営化・外注化を行ってきた結果、都庁という首都東京の中心で引き起こされた共謀罪の先取りであり、ブラック企業による非正規使い捨て解雇です。小池知事によるもうけ優先の民営化・外注化によって、都労連の解体、労働組合と団結が破壊されようとしています。これが小池版「働き方改革・女性の活躍」の本質です。

以下の事を目的に「都庁ふくしま署名解雇を許さない会」を結成し、勝利の日まで闘いぬき

ます。「許さない会」への参加を呼びかけます。

一、小池都知事と都庁の業務委託先(株)「はなまる」による解雇を絶対に許しません。

解雇撤回署名運動を取り組み、柿沼さんの解雇撤回まで闘います。

一、小池都知事による東京都丸ごと民営化許さない！ 外注化・非正規化許すな！

一、被曝と帰還の強制反対運動への不当な弾圧・解雇を許さず、署名運動を一層推し進めます。

一、米軍の核ミサイルを東京に配備せよと主張し、東京を軍都にしようとする小池都知事の戦争政策と民営化を止めよう！

*賛同会費は(個人会員:月500円、団体会員:月1000円)。カンパも自由にお願ひします。

郵便振替口座番号 00180-5-696858

加入者名「都庁ふくしま署名解雇を許さない会」
必ず通信欄に会費かカンパか、会費の場合何口で何か月分かを記入してください。



みなさんの力でNAZENの活動を支えてください。年会費(1月~12月)個人一口2000円、団体一口3000円です。夏の北富士保養に必要な100万円まで、まだ45万円ほど必要です。できる範囲でご協力お願いいたします。



◆◆◆ 郵便局 振替口座 ◆◆◆

口座番号 00120-8-763817

加入者名 NAZEN

銀行口座からの振込の場合 ○一九店 0763817

※振り込みの際は、「年会費〇人、〇団体分」
「保養カンパ」などお書き下さい



◆◆◆ 診療所基金はこちら ◆◆◆

福島診療所建設委員会の口座へ

★郵便振込口座 02200-8-126405

福島診療所建設基金

★銀行口座

福島銀行 本店(110)普通 1252841

福島診療所建設基金 代表 渡辺 馨

★PayPalでのお振り込み

アカウント

clinicfukushima@yahoo.co.jp

渡辺馨(福島診療所建設委員会)

